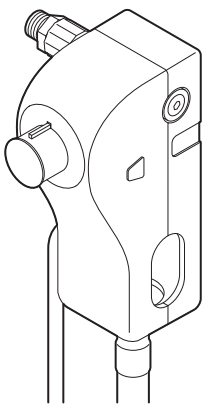
水圧式自動希釈装置

AD-1.0G/3.5G

取扱説明書

お買い求めいただき、誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。



梱包内容

≪共 通≫
- ·本体 …… 1台
- ·薬液ホース(φ10×290cm) …… 1本
- ·チップ(16個) …… 1セット
- ·逆止弁 …… 1個
- ·逆止弁固定チューブ …… 2個
- ·吸引ガイド …… 1本
- ·給水接続口(1/2~3/4異型ニップル付) … 1個
- ·ストップ水栓 …… 1個
- ·連結ニップル …… 1個
- ·ねじセット(タッピンねじ3個、プラグ3個) … 1セット
- ·薬液ラベル …… 4種
- ·まぜるな危険ラベル …… 1枚
- ·結束バンド …… 3本
- ·取扱説明書 …… 本紙

≪1.0G専用≫
- ·吐出ホース(φ20×20cm) …… 1本

≪3.5G専用≫
- ·吐出ホース(φ20×120cm) …… 1本

目次

ページ

安全上のご注意 …… 1
- •取り付け上の注意事項
- •使用上の注意事項
- •移設·修理時の注意事項
- •廃棄時の注意事項

各部の名称 …… 4

取り付けについて …… 5
- •薬液ラベルの貼り付け
- •壁への取り付けに必要な工具
- •本体の組み立て方法
- •取り付け方法
- •薬液の装着または交換方法

使用方法 …… 11

お手入れ方法 …… 12

修理を依頼される前に …… 12

仕　様 …… 13

アフターサービス …… 13
- •アフターサービスについて

希釈倍率について …… 14

お問い合わせ窓口 ……15

SARAYA

安全上のご注意 1

ご使用の前に、この**「安全上のご注意」**を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管してください。
本取扱説明書で不明な点は、当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）までご連絡ください。

表示の説明

⚠ 警 告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷(※1)などに結びつく可能性があるもの
⚠ 注 意	誤った取り扱いをしたときに傷害(※2)、または家屋・家財などの損害(※3)に結びつくもの

図記号の説明

⃠	絶対に行わないでください
●	必ず指示に従ってください

(※1)重傷とは、失明やケガ、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものをさします。
(※2)傷害とは、治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
(※3)損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

取り付け上の注意事項

⚠警 告

仕様に定める規格に従い取り付け、使用する。
規格外での取り付け·使用は、ケガや事故·故障の原因になります。

丈夫で凹凸のない壁面に確実に取り付ける。
取り付け上の不備があると、落下によるケガや故障の原因になります。

取り付け·移設は、必ずお買い求めの販売店または専門業者に依頼する。
取り付け上の不備があると、水漏れの原因になります。

火気や火花が出る器具の近くには取り付けない。
変形や故障、火災の原因になります。万一に備えて近くに消火器を設置してください。

換気が十分に行える場所に設置して換気する。
換気が不十分だと、揮発した薬液が充満して気分が悪くなることがあります。

⚠注 意

磁石を近づけてはいけない製品の近くや場所に取り付けない。
他の製品の故障の原因になります。

直射日光の当たる場所、高温になる場所には取り付けない。
変形や薬液の劣化の原因になります。

配管接続部は確実に締め付ける。
取り付け上の不備があると、水漏れや液漏れの原因になります。

安全上のご注意 2

使用上の注意事項

⚠警告

火のついたローソクやタバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけない。
変形や火災の原因になります。

製品に水をかけない。
故障の原因になります。

水道水以外の水を使用しない。
正しく希釈されない場合があります。

製品を凍結させない。冬季など周囲温度が氷点下になるときは水抜きをする。
配管に残った水が凍結すると、配管が破損して事故や水漏れの原因になります。

当社指定の薬液以外は使用しない。
故障の原因になります。

薬液、本製品から吐出される水·希釈液は絶対に飲まない。
健康を害する恐れがあります。

薬液を希釈する以外の目的で使用しない。
故障の原因になります。

薬液は、その薬液の「使用上の注意」などをよく読んでから使用する。

薬液を扱うときは必ず保護具を着用する。
薬液が皮ふや目、衣服などに付着しないように注意し、作業後は必ず手を洗ってください。失明などの原因になります。

薬液交換·補給の際は液の飛びはねに十分注意する。
液が飛びはねると、目や皮ふに付く恐れがあります。

吐出ホースを人に向けない。
薬液が皮ふや目、衣服などに付着するとケガや事故の原因になります。

⚠注意

製品の上に物を置かない。
落下によるケガや故障の原因になります。

落としたりぶつけたりして、強い衝撃を与えない。
故障の原因になります。

ボタンを乱暴に押さない。
乱暴に扱うと故障の原因になります。

複数の薬液を併用しない。
装置1台に対して複数の薬液を併用すると配管内で混ざり、故障や事故の原因になります。

薬液ホースは傷付けたり、折り曲げたりしない。
ホースは慎重に取り扱い、傷付いたり折れ曲がったりする場所には設置しない。

水道水を使用し、動水圧※0.2MPa～0.6MPaの範囲で使用する。
水漏れの原因になります。
※希釈装置のボタンを押して、薬液を希釈する水道水が吐出している状態での水圧。

安全上のご注意 3

使用上の注意事項（続き）

⚠注意

薬液を装着するときは薬液がこぼれないように注意する。
薬液がこぼれた場合はすぐに拭き取る。床面などの変色、すべって転倒するなどの事故の原因になります。

定期点検を行う。
製品の安全および性能を保つため、定期点検と清掃作業を行ってください。

2～3日以上使用しないときや保管するときは、必ず薬液容器を取り外し、給水の元栓を閉じ配管内を清掃する。
吐出·給水配管内の水および薬液配管内の薬液を抜き、水を通して洗浄する。
目詰まり、水の腐敗や水漏れ、部品や薬液の劣化の原因になります。

移設·修理時の注意事項

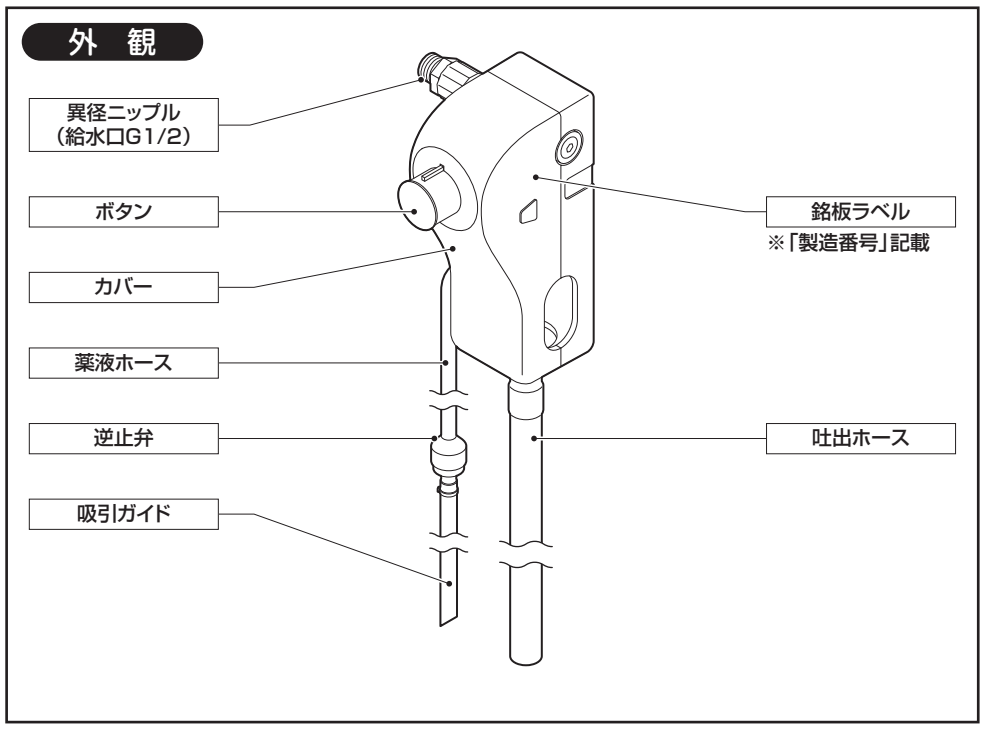
⚠警 告

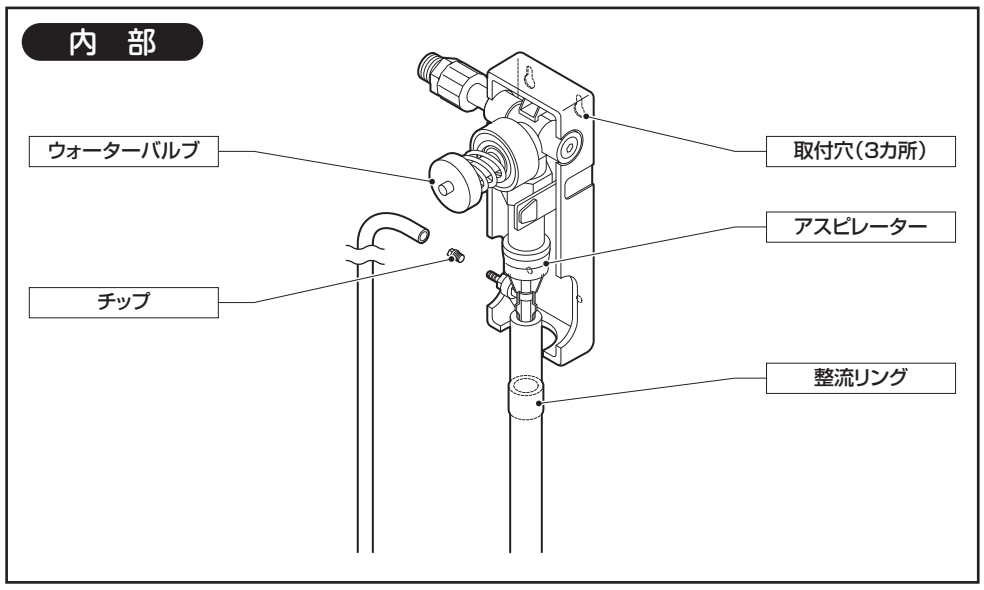
絶対に分解·修理·改造は行わない。
ケガや故障の原因になります。修理についてはお買い求めの販売店、または当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）にご相談ください。

廃棄時の注意事項

製品を廃棄するときは、各国·地域の法律または規則に従う。

各部の名称 4





取り付けについて 5

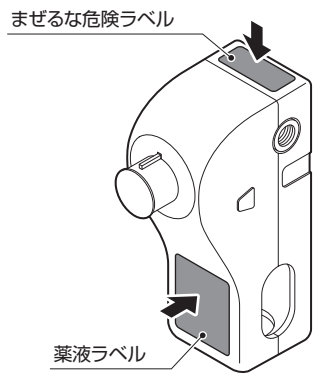
薬液ラベルの貼り付け

使用薬液のラベルを正面の下部に貼り付けます。

注 意

使用薬液がジアノックの場合は、本体天面に“まぜるな危険”ラベルも貼り付けてください。

また、天面に貼ると視認できなくなるような場所に取り付ける際は、本体側面などの確認できる場所に貼り付けてください。



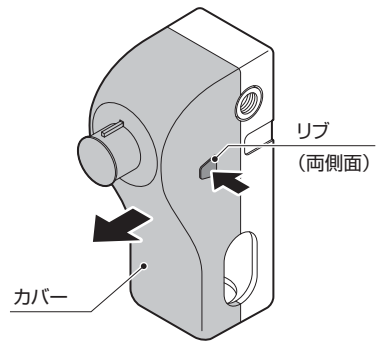
壁への取り付けに必要な工具

●φ8ドリル刃	●φ3ドリル刃	●電動式ドリル（振動ドリル）	●プラスドライバー
●ハンマー（樹脂ヘッド）	●モンキーレンチ	●ウォーターポンププライヤー	●シールテープ
●六角レンチ5/16inch	●六角レンチ3/8inch	●メジャー、ものさしなど	●水平器

本体の組み立て方法

【1】カバーの開け方

本体両側面のリブを押さえながら、カバーを取り外します。



取付方法 6

【2】給水接続口の取り付け

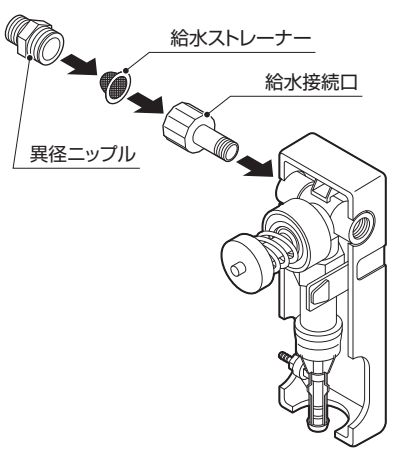
①給水接続口を本体に取り付けます。

②給水ストレーナーを挿入し、異径ニップルを取り付けます。

注 意

●給水接続口はシールテープ（3～6巻）を巻いてから取り付けてください。
巻きが多いと故障の原因になり、少ないと水漏れの原因になります。

●給水接続口は設置現場の状況にあわせて、左右どちらでも取り付けることが可能です。
（本紙では左側接続にて説明します。）

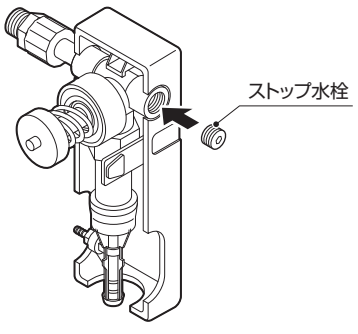


【3】1台で使用する場合

ストップ水栓を本体に取り付けます。

注 意

ストップ水栓はシールテープ（3～6巻）を巻いてから取り付けてください。
巻きが多いと故障の原因になり、少ないと水漏れの原因になります。



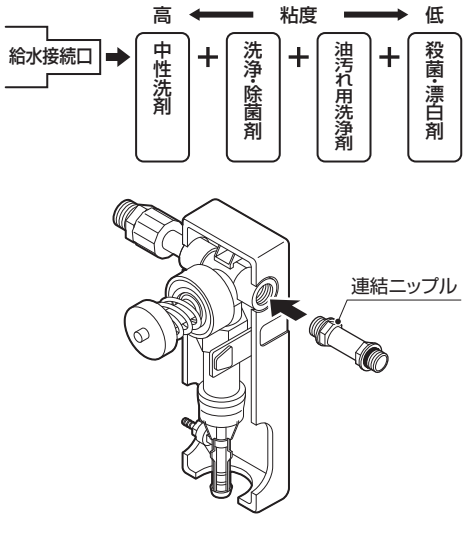
【4】2台以上を連結する場合（最大4台まで）

※連結の際は薬液粘度の高い順に接続し、給水接続口は最も粘度の高い製品に接続してください。

①連結ニップルを取り付けます。

注 意

連結ニップルにはOリングが付属しています。
交換の際、傷付けたり、外したり、失くしたりしないように注意してください。
薬液漏れの原因になります。

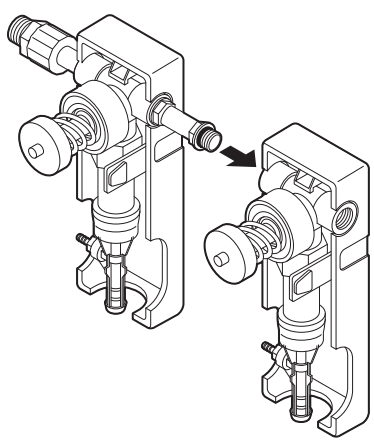


取付方法 7

②連結ニップルの反対側に2台目以降を接続します。

注 意

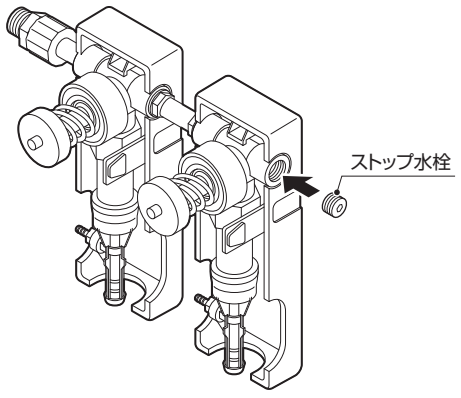
製品同士が平行になるように接続してください。



③最後の製品にストップ水栓を取り付けます。

注 意

ストップ水栓はシールテープ（3～6巻）を巻いてから取り付けてください。
巻きが多いと故障の原因になり、少ないと水漏れの原因になります。



取り付け方法

【1】取り付ける壁とスペースの確認

以下の条件を満たす壁に取り付けてください。

●丈夫で凹凸のない壁面

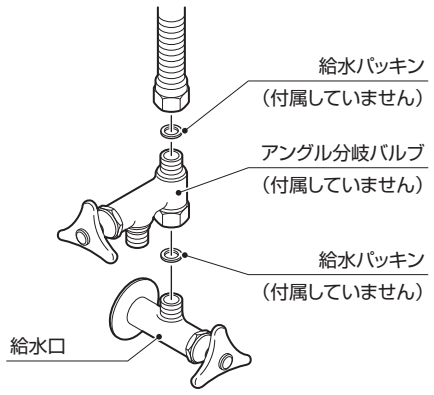
●給水口が近くにあり、かつ床面より1.5m以下の場所

【2】アングル分岐バルブの取り付け

給水口にアングル分岐バルブを取り付けます。

注 意

必ずアングル分岐バルブを取り付けてください。



【3】壁面への取り付け

取付穴（3カ所）に合わせて壁面に穴をあけ、付属のねじセットで固定します。

注 意

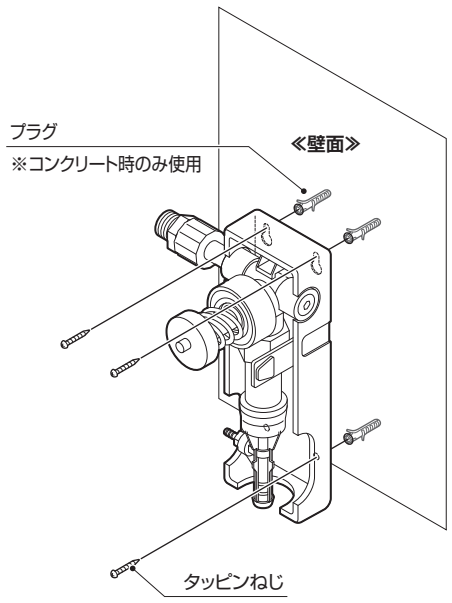
●壁面がコンクリートの場合は、振動ドリルなどで穴（φ6mm･深さ32mm～40mm)をあけ、プラグを打ち込み、タッピンねじで固定してください。

●壁面が木製の場合は、案内穴（φ3mm）をあけてから、タッピンねじで固定してください。

●壁面の強度が弱い（コンパネ［6mm以下］石膏ボードなど）場合は、補強材で補強してからタッピンねじ、もしくはボードに適したねじで固定してください。

●壁面に穴をあけるときは、他の配管･配線が通っていないことを確認してください。

●切粉はきれいに取り除いてください。



【4】吐出ホース･薬液ホースの取り付け

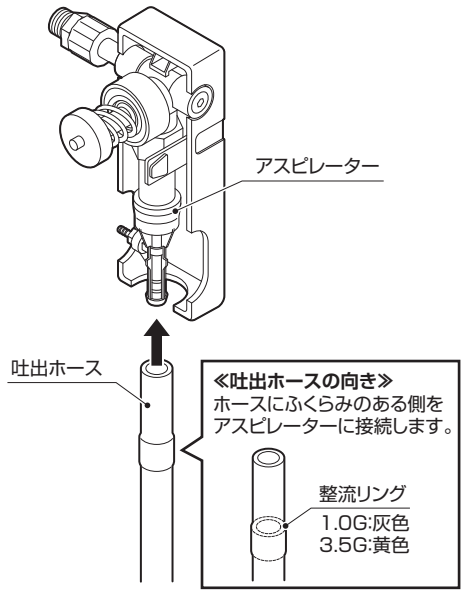
①向きに注意して、吐出ホースをアスピレーターに取り付けます。

注 意

●吐出ホースは整流リングの付いている方をアスピレーターに接続してください。

●付属の吐出ホースは、型式によって長さが異なります。（1.0G:約20m、3.5G:約120m）

●必ず付属の吐出ホースを使用してください。
市販のホースを取り付けると正常に希釈されないことがあります。



②逆止弁に、逆支弁固定チューブを取り付けます。

③薬液ホースに逆止弁と吸引ガイドを取り付け、吸引ガイドを結束バンドで固定します。

④任意の希釈倍率に合ったチップと薬液ホースを取り付けます。

⑤カバーを取り付けます。

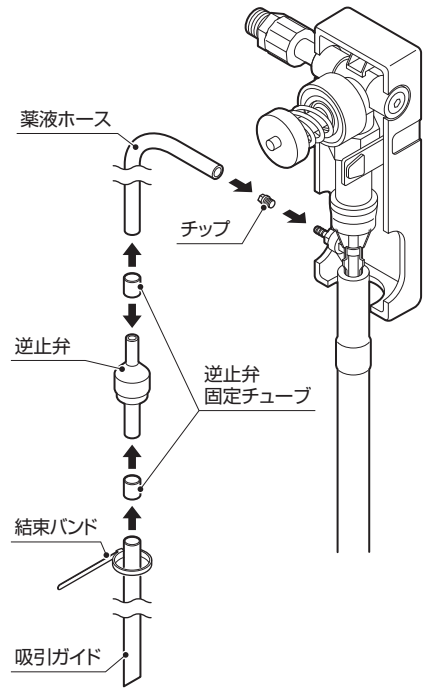
注 意

●薬液ホースは、アスピレーターを回転させると、本体の左右どちらにも取り付けることが可能です。

●必ず付属の薬液ホースを使用してください。
市販のホースを取り付けると正常に希釈されないことがあります。

●チップの希釈倍率については、14、15ページ「希釈倍率について」を参照してください。

●使用しなかったチップは、大切に保管してください。



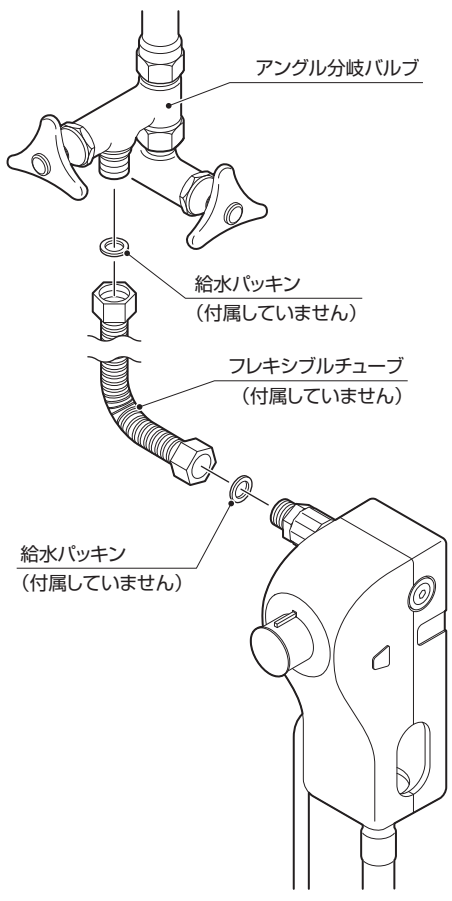
【5】給水口との接続

フレキシブルチューブで、給水接続口とアングル分岐バルブを接続します。

注 意

接続後、アングル分岐バルブを開き、接続部分から水漏れがないことを確認してください。

確認後はアングル分岐バルブを閉じてください。



薬液の装着または交換方法

①薬液ボトルのキャップに穴（φ8）をあけます。

②薬液ボトルに吸引ガイドを差し込みます。

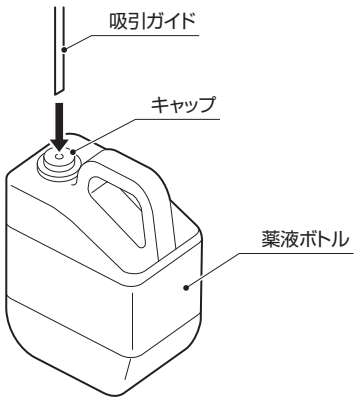
注 意

●薬液ボトルは、吸引ガイドを薬液ボトルに差し込んだ際に、ボトルの底に届く位置になるよう、吸引ガイドを調整してください。

●薬液は当社指定のものを使用してください。

●薬液については、薬液に貼付されている『使用上の注意』などをよく読んでからお使いください。

●キャップの洗剤側を結束バンドで結び、キャップから吸引ガイドが抜けないように固定してください。



使用方法 11

1.0Gは水量が少なく吐出ホースが短いため、小分けボトルなど小容量の容器への使用に適しています。

3.5Gは水量が多く吐出ホースが長いため、大容量の容器や流し台などへの使用に適しています。

①任意の容器や流し台に、吐出ホース先端を入れます。

②アングル分岐バルブを開きます。

③ボタンを押すと、希釈液が吐出します。
※ボタンを押して右に回すと、ロックすることができ、希釈液を連続して吐出できます。

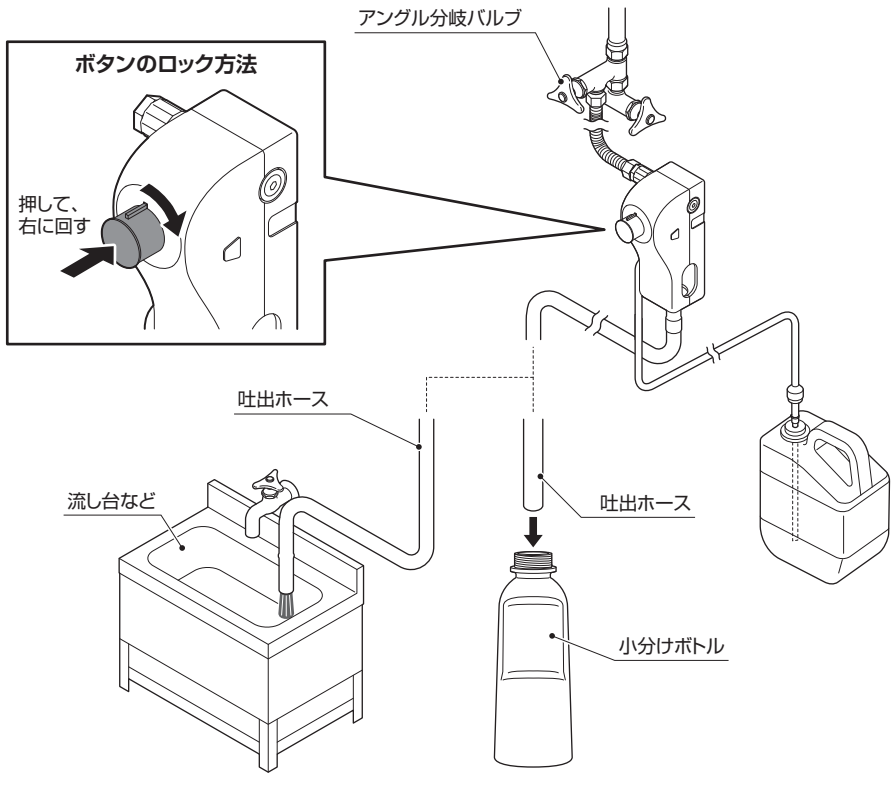
④使用後は、アングル分岐バルブを閉じます。

注 意

●新しい薬液を装着した直後は、すぐに希釈液は吐出しません。希釈液が吐出するまでボタンを押し続けてください。

●希釈液が容器や流し台から飛び散らないように注意してください。

●取り付け直後などは、製品の配管内に空気が入っていることがあります。このとき希釈液を吐出すると、通常より勢い良く飛び出すことがあるので注意してください。



お手入れ方法 12

本製品を末永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。
汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤をふくませた布で拭き取ってください。そのあと、水で濡らしてよく絞った柔らかい布で洗剤を拭き取り、最後に柔らかい布でから拭きしてください。

注 意 次のものは使わないでください。

シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・酸・アルカリ・たわしなど
化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。

修理を依頼される前に

故障かな?…と思ったら、まず次のことをお調べください。

症　状	調べるところ	ページ
希釈液が吐出しない または 少ししか吐出しない	●給水圧、水量は適切ですか? ●アングル分岐バルブが閉まっていませんか? ●ボタンを確実に押していますか? ●断水していませんか?	2 11 11 ー
希釈液の吐出が 止まらないとき	●ボタンがロックされていませんか?	11
水が漏れるとき	●各接続部分が確実に接続されていますか?	5〜10
薬液が混ざらない （吸引しない）とき	●薬液切れではありませんか? ●吸引ガイドは薬液ボトルに確実に差し込まれていますか? ●給水圧、水量は適切ですか? ●各接続部分が確実に接続されていますか? ●チップ、アスピレーター、逆止弁が詰まっていませんか? →洗浄または交換してください。 ●薬液ホースが折れていませんか?	10 10 2 5〜10 4 11
希釈液が薄い または濃い	●チップの選定は適切ですか?	14･15
薬液容器に逆流する	●逆止弁は正常に機能していますか? →洗浄または交換してください。	4

以上のことをお調べになり、それでも不具合症状が解消されない場合には、ご自分で修理なさらないで、アングル分岐バルブを閉め、お買い求めの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）にご相談ください。

仕　様 13

項　　目	内　　容
名　　称	水圧式自動希釈装置
型　　式	AD-1.0G / AD-3.5G
外 形 寸 法	W120 × D87 × H172 mm（本体部分）
製 品 質 量	約240g（梱包、付属品、吐出ホース、薬液ホースおよび薬液は除く）
給 水 接 続 口	G1/2　おねじ
バルブ開閉方式	マグネットによる開閉方式
薬液混合方式	アスピレーター方式
希 釈 倍 率	チップの交換による調整
流 体 仕 様	水道水と薬液
使用可能圧力範囲	0.2MPa ～ 0.6MPa（動水圧）
水　　温	0〜45℃（凍結なきこと）
使用環境温度	5〜35℃（薬液に適切な流動性が保たれていること）
使用環境湿度	20〜85%（結露なきこと）
使 用 薬 液（※）	当社指定の薬液

※ 使用薬液は、当社指定の薬液をお使いください。
他社の薬液を使用した場合、トラブルが生じる恐れがありますのでお使いにならないでください。

本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

アフターサービス

アフターサービスについて

●アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）にご相談ください。
※故障の場合は、ご購入日、本製品の型式と、できるだけ詳しい故障状態をお知らせください。

●転居されるときは
ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）にご相談ください。
ご転居先での販売店、もしくは最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

希釈倍率について 14

希釈倍率の測定表

数値は目安としてご利用ください。
また、粘度の高い薬液を使用する場合は、「希釈倍率の計算式」にて計算しチップの選定をしてください。

●床から本体天面までの高さ：1,300mm　床から薬液ボトル底面までの高さ：600mm

	アスピレーター：灰色（1GPM）　動水圧:21Mpa						アスピレーター：黄色（3.5GPM）　動水圧:28Mpa					
中性洗剤	気温：約25℃ 液温：約26℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率		気温：約22℃ 液温：約23℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率	
		赤色	8.4	茶色	25.7			赤色	34.2	茶色	97.3	
	チップ色	希釈倍率	白色	10.3	黄色	31.7	チップ色	希釈倍率	白色	39.8	黄色	119.5
	なし	7.2	青色	11.3	水色	36.6	なし	26.4	青色	42.4	水色	146.6
	灰色	7.3	黄赤色	13.7	紫色	58.7	灰色	28.7	黄赤色	48.4	紫色	211.7
	黒色	7.0	緑色	19.0	桃色	111.7	黒色	29.6	緑色	73.0	桃色	410.2
	灰黄色	7.3	橙色	21.6	薄紫色	125.2	灰黄色	29.9	橙色	84.8	薄紫色	503.8
5倍コンク洗剤	気温：約24.5℃ 液温：約23.5℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率		気温：約23.5℃ 液温：約23.5℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率	
		赤色	15.6	茶色	43.9			赤色	70.8	茶色	186.4	
	チップ色	希釈倍率	白色	18.3	黄色	55.8	チップ色	希釈倍率	白色	75.7	黄色	235.1
	なし	14.0	青色	19.0	水色	65.3	なし	55.7	青色	81.8	水色	288.5
	灰色	13.9	黄赤色	22.3	紫色	111.0	灰色	57.3	黄赤色	93.1	紫色	487.3
	黒色	13.5	緑色	31.3	桃色	263.7	黒色	57.9	緑色	122.5	桃色	1292.6
	灰黄色	14.6	橙色	35.2	薄紫色	289.0	灰黄色	59.8	橙色	141.3	薄紫色	1827.9
中性除菌洗浄剤	気温：約24℃ 液温：約24.5℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率		気温：約22℃ 液温：約23℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率	
		赤色	6.6	茶色	25.0			赤色	21.0	茶色	88.1	
	チップ色	希釈倍率	白色	8.7	黄色	32.2	チップ色	希釈倍率	白色	28.4	黄色	113.8
	なし	5.0	青色	9.5	水色	37.7	なし	12.4	青色	31.9	水色	137.5
	灰色	5.1	黄赤色	11.9	紫色	63.1	灰色	13.0	黄赤色	39.4	紫色	249.1
	黒色	5.0	緑色	17.9	桃色	128.8	黒色	13.2	緑色	61.3	桃色	471.1
	灰黄色	5.4	橙色	20.8	薄紫色	154.1	灰黄色	15.5	橙色	75.4	薄紫色	784.2
洗浄・除菌剤	気温：約24℃ 液温：約25℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率		気温：約24℃ 液温：約24.5℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率	
		赤色	7.0	茶色	24.5			赤色	22.3	茶色	89.4	
	チップ色	希釈倍率	白色	8.9	黄色	30.9	チップ色	希釈倍率	白色	28.5	黄色	116.6
	なし	5.5	青色	9.8	水色	37.2	なし	13.2	青色	33.6	水色	138.3
	灰色	5.6	黄赤色	12.0	紫色	61.1	灰色	14.0	黄赤色	42.8	紫色	232.7
	黒色	5.6	緑色	17.6	桃色	117.0	黒色	14.4	緑色	61.4	桃色	480.0
	灰黄色	5.9	橙色	20.3	薄紫色	137.4	灰黄色	16.6	橙色	71.8	薄紫色	822.4

希釈倍率について 15

	アスピレーター：灰色（1GPM）　動水圧:21Mpa						アスピレーター：黄色（3.5GPM）　動水圧:28Mpa					
油汚れ用洗浄剤	気温：約25℃ 液温：約25.5℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率		気温：約24℃ 液温：約24℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率	
		赤色	5.4	茶色	21.0			赤色	14.4	茶色	71.6	
	チップ色	希釈倍率	白色	7.1	黄色	27.3	チップ色	希釈倍率	白色	20.1	黄色	91.9
	なし	3.4	青色	8.1	水色	31.3	なし	6.4	青色	24.5	水色	108.7
	灰色	3.4	黄赤色	10.1	紫色	52.9	灰色	6.7	黄赤色	31.8	紫色	188.8
	黒色	3.5	緑色	15.2	桃色	100.5	黒色	6.8	緑色	48.7	桃色	351.7
	灰黄色	4.2	橙色	17.9	薄紫色	112.2	灰黄色	9.2	橙色	59.5	薄紫色	387.9
殺菌・漂白剤	気温：約22℃ 液温：約22.5℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率		気温：約22.5℃ 液温：約23℃	チップ色	希釈倍率	チップ色	希釈倍率	
		赤色	5.5	茶色	21.5			赤色	13.6	茶色	68.5	
	チップ色	希釈倍率	白色	7.8	黄色	27.0	チップ色	希釈倍率	白色	19.9	黄色	85.9
	なし	3.5	青色	8.3	水色	32.6	なし	5.9	青色	23.2	水色	103.9
	灰色	3.7	黄赤色	10.2	紫色	53.0	灰色	6.2	黄赤色	29.8	紫色	177.7
	黒色	3.5	緑色	15.0	桃色	101.4	黒色	6.5	緑色	48.1	桃色	343.9
	灰黄色	4.1	橙色	17.9	薄紫色	113.3	灰黄色	8.9	橙色	56.2	薄紫色	407.0

希釈倍率の調整方法

薬液の希釈倍率は、アスピレーターの吸液口に挿入するチップを交換することにより調整します。
14ページの「希釈倍率の測定表」を参考にしてチップの色を選定してください。

※穴のあいていない透明のチップは、付属のチップの中にお望みのものが無い場合に、お望みの大きさの穴をあけていただくためのものです。

注 意

希釈倍率は水の温度･圧力･流量･薬液の粘度により変わります。
季節が変わるごとにチップを交換して、お望みの希釈倍率に調整してください。

≪希釈倍率の計算式≫

希釈倍率は、薬液を1分間吐出させ、その間に吐出した希釈液の容量と吸引された薬液の容量を測定して、次の公式より算出します。

希釈倍率 ＝（吐出した希釈液の容量）÷（吸引された薬液の容量）

お問い合わせ窓口　サラヤ株式会社　〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06(6797)2525
電話受付:平日（土日および祝祭日、弊社休日を除く）9:00～18:00
URL:http://www.saraya.com/

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。